

ISSN 1882-0468

ISSN-L 1882-0468

NDL 書誌情報ニュースレター

2020 年 4 号(通号 55 号)

目次

2021 年 1 月から Web NDL Authorities が変わります (収集・書誌調整課 西村葉純)	1
コラム:ジャンル・形式用語の付与を開始します (国内資料課)	9
お知らせ:『日本目録規則 2018 年版』適用細則案(地図資料、和古書)の公開および 「ジャンル・形式用語作業指針」の公開(予告)について (収集・書誌調整課 書誌調整係)	13
お知らせ:2021 年 1 月から Web NDL Authorities でアジア言語資料の著者名典拠を 公開します (収集・書誌調整課 書誌調整係)	14
お知らせ:2021 年 1 月から書誌データ提供サービスが変わります (収集・書誌調整課 書誌サービス係)	15
お知らせ:「NDL 書誌情報ニュースレター」は 2021 年 1 号(通号 56 号)をもって終刊し ます (収集書誌部)	17

2021年1月からWeb NDL Authorities が変わります

【はじめに】

[国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス \(Web NDL Authorities\)](#) は、2021年1月から、[国立国会図書館検索・申込オンラインサービス \(国立国会図書館オンライン\)](#) との連携を開始します。さらに、新しい典拠データ「著作」と「ジャンル・形式用語」の提供を開始します。また、2021年1月から新たに公開されるアジア言語資料の著者名典拠については、本誌今号「おしらせ：2021年1月からWeb NDL Authorities でアジア言語資料の著者名典拠を公開します」をご覧ください。

この記事では、新しく提供する典拠データ「著作」「ジャンル・形式用語」を例にとりながら、2021年1月からのWeb NDL Authorities の変更点を紹介します[1]。

1. Web NDL Authorities と国立国会図書館オンラインの連携

Web NDL Authorities には、典拠データとリンクする書誌データを検索できる機能があります。2021年1月から、Web NDL Authorities は、書誌データ検索の連携先を[国立国会図書館サーチ](#)から[国立国会図書館オンライン](#)に変更します。

Web NDL Authorities の詳細情報画面では、ページ上に書誌データ検索のためのリンクボタンが表示されます(図1)。リンクボタンをクリックすると、2020年12月までは国立国会図書館サーチの検索結果一覧画面に遷移しますが、2021年1月からは国立国会図書館オンラインの検索結果一覧画面に遷移します。遷移した先の検索結果一覧から書誌データを選んだ後、その詳細画面からも直接国立国会図書館オンラインにログインすることができ、そのまま資料の利用申込みに進むことができます。

The screenshot shows the Web NDL Authorities interface. At the top, there are search options: 'キーワード検索' (Keyword search), '分類記号検索' (Classification code search), and '典拠ID検索' (Authority ID search). The search input field contains '今昔物語集' and the search button is labeled '検索'. Below the search bar, there are radio buttons for 'すべて' (All), '名称のみ' (Name only), and '資源件名のみ' (Resource title only). The main content area displays the search results for '今昔物語集' (Imakimono Monogatari Shū) with a table of metadata:

ID	00634715
典拠種別 skos:InScheme	著作
名称/タイトル xl:prefLabel	今昔物語集
名称/タイトルのカナ読み ndl:transcription@ja-Kana	コンジャク モノガタリシュウ
名称/タイトルのローマ字読み ndl:transcription@ja-Latn	Konjaku monogatarishu
別名/別タイトル xl:altLabel	コンジャクモノガタリ 今昔物語

On the right side of the interface, there is a section titled '国立国会図書館のサービス' (National Diet Library Services) with the text: '以下のリンクボタンから国立国会図書館オンラインで検索ができます。' (You can search on the National Diet Library Online from the following link buttons). Below this text are two buttons: '著作検索' (Author search) and '件名検索' (Title search). Two callout boxes provide additional information: one points to the '著作検索' button and says '国立国会図書館オンラインの、著作「今昔物語集」を具体化した資料の検索結果一覧ページにリンク' (Link to the search results list page for specific materials of the work 'Imakimono Monogatari Shū' on the National Diet Library Online); the other points to the '件名検索' button and says '国立国会図書館オンラインの、「今昔物語集」をテーマとした資料の検索結果一覧ページにリンク' (Link to the search results list page for materials with 'Imakimono Monogatari Shū' as a theme on the National Diet Library Online).

図1 著作典拠の詳細情報画面（予定）[2]

書誌データ検索のためのリンクボタンは、「著者名検索」、「件名検索」、「著作検索」、「ジャンル検索」の四種類に増えます（表1）。

リンクボタン	検索対象	リンクボタンが表示される典拠種別
著者名検索	典拠が表す個人・団体が著者などである資料	個人名、団体名、地名
件名検索	典拠が表す個人・団体、もの・ことなどをテーマとする資料	個人名、家族名、団体名、地名、統一タイトル、著作[3]、普通件名
著作検索(2021年1月から追加)	典拠が表す著作（作品のアイディア）を具体化した資料[4]	著作
ジャンル検索（2021年1月から追加）	典拠が表すジャンル・形式に該当する資料	ジャンル・形式用語

表1 Web NDL Authorities のリンクボタンの種類

リンクボタンをクリックすると、固有の典拠IDを通してその典拠データにリンクしている書誌データのみを検索するため、同姓同名の別人や、表記の形が同じ別の概念を区別することができ、国立国会図書館オンラインでの資料の検索がより便利になります。

たとえば、国立国会図書館オンライン詳細検索画面の著者名欄に「村上春樹」というキーワードを入力して検索を行うと、キーワードの文字列を含むすべての書誌データが検索結果一覧として表示されるため、広く検索したい場合には便利ですが、小説家「村上春樹」と国文学者「村上春樹」の著書がどちらもヒットしてしまい、著者名のみでは検索結果をどちらかの著書に絞ることができません。

同様に、件名欄に「河童」というキーワードを入力して検索を行うと、伝説上の生物である「河童」を主題とした本だけでなく、芥川龍之介の小説『河童』を主題とした本や、舞台芸術家・作家の「妹尾河童」を主題とした本などもすべて、一緒に混ざってヒットしてしまいます。

一方、典拠データは異なる人物や概念を区別して作成されるので、典拠IDによる検索では、より必要な情報のみ絞った検索・表示が可能です。典拠データとリンクしている資料群に限定されるものの、関連性の低い書誌データを除外できるため、目的に適った資料の絞り込みが容易になります[5]。

また、国立国会図書館オンラインの書誌詳細画面に表示される、「Web NDLA へのリンク」アイコンをクリックすると、Web NDL Authorities の当該典拠の詳細情報画面に遷移します（図2）。Web NDL Authorities の連携先が国立国会図書館オンラインに切り替わることで、国立国会図書館オンラインとの間で双方向からのアクセスが実

現し、書誌データから典拠データへ、典拠データから書誌データへとシームレスに画面を移動することが可能になります。

2. 著作

Web NDL Authorities では、2021年1月から、『[日本目録規則 2018年版](#)』で新たに典拠コントロールの対象に加わった「著作」の典拠（以下、「著作典拠」）[6]の提供を開始します。著作は、著作典拠と件名典拠（「統一タイトル件名」）[7]で同一の典拠データを使用します。

「著作」とは、資料として具体化される前の作品のアイデアそのものを表す概念です。同じ作品であれば、タイトルのゆれや翻訳者の違いに関わらず、同じ一つの著作（作品のアイデア）を具体化したものとみなし、それぞれの書誌データから同じ一つの著作典拠にリンクします。つまり、同じ作品の異なるタイトル表記の形が一つの著作典拠にまとめられます。

著作典拠のリンク対象となるのは、国内で刊行された図書、外国で刊行された和図書の一部です[8]。資料に具体化された著作のうち、つぎに該当するものの典拠データを作成します（ただし、音楽作品、聖典、法令などを除きます）

- a) 復刻・翻刻または翻訳（現代語訳・口語訳を含む）された古典作品の原著作[9]
- b) 日本語訳のタイトルが複数存在する近現代の作品の原著作[10]

著作典拠の適用対象「a) 復刻・翻刻または翻訳（現代語訳・口語訳を含む）された古典作品の原著作」については、たとえば2020年に完結して話題となった、小説家角田光代による「源氏物語」の現代語訳のような作品を想定しています。

また、著作典拠の適用対象「b) 日本語訳のタイトルが複数存在する近現代の作品の原著作」については、サン＝テグジュペリの小説“Le Petit Prince”を原著作とする『星の王子さま』『小さな王子』などのように、翻訳者によってタイトルが異なる作品を想定しています。

Web NDL Authorities の著作典拠の詳細情報画面には、「著作検索」と「件名検索」の二つのリンクボタンが表示され、それぞれのボタンから、国立国会図書館オンラインの検索結果一覧ページに遷移します。

「著作検索」リンクボタンからは、国立国会図書館オンライン上の当該著作（作品のアイデア）を具体化した資料をまとめて検索できるようになります。この機能によって、復刻・翻刻または翻訳などによるタイトルの違いを超え、対象の著作に絞った上で、効率よく書誌データを検索することが可能になります。ただし、著作典拠の作成および書誌データとのリンクは、当面の間、2021年1月以降に書誌データを作成する資料に限られます[11]。

一方、「件名検索」リンクボタンからは、対象の著作を主題とする本の書誌データをまとめて検索することができます。キーワード検索と異なり、資料群は典拠データとリンクしているものに限定されますが、書名などにキーワード（著作のタイトル）が含まれていない場合でも、その著作をテーマとした資料を検索できます。図1の「今昔物語集」の例では、「著作検索」リンクボタンからは、作品そのものとしての「今昔物語集」の検索が可能ですが、「件名検索」からは、「今昔物語集」の研究書など、「今昔物語集」をテーマにした本の書誌データを検索することができます。

また、著作典拠データの詳細情報画面に、新たに「[日本古典籍総合目録データベース](#)」（[国文学研究資料館](#)のデータベース）へのリンク[12]を追加します（図2）。Web NDL Authoritiesの古典作品の著作典拠から、日本古典籍総合目録データベースの同じ古典作品の著作レコードに遷移します。その詳細画面にある書誌データ一覧では、当該著作に紐づく日本古典籍総合目録データベースに収録されている書誌データを確認することができます。

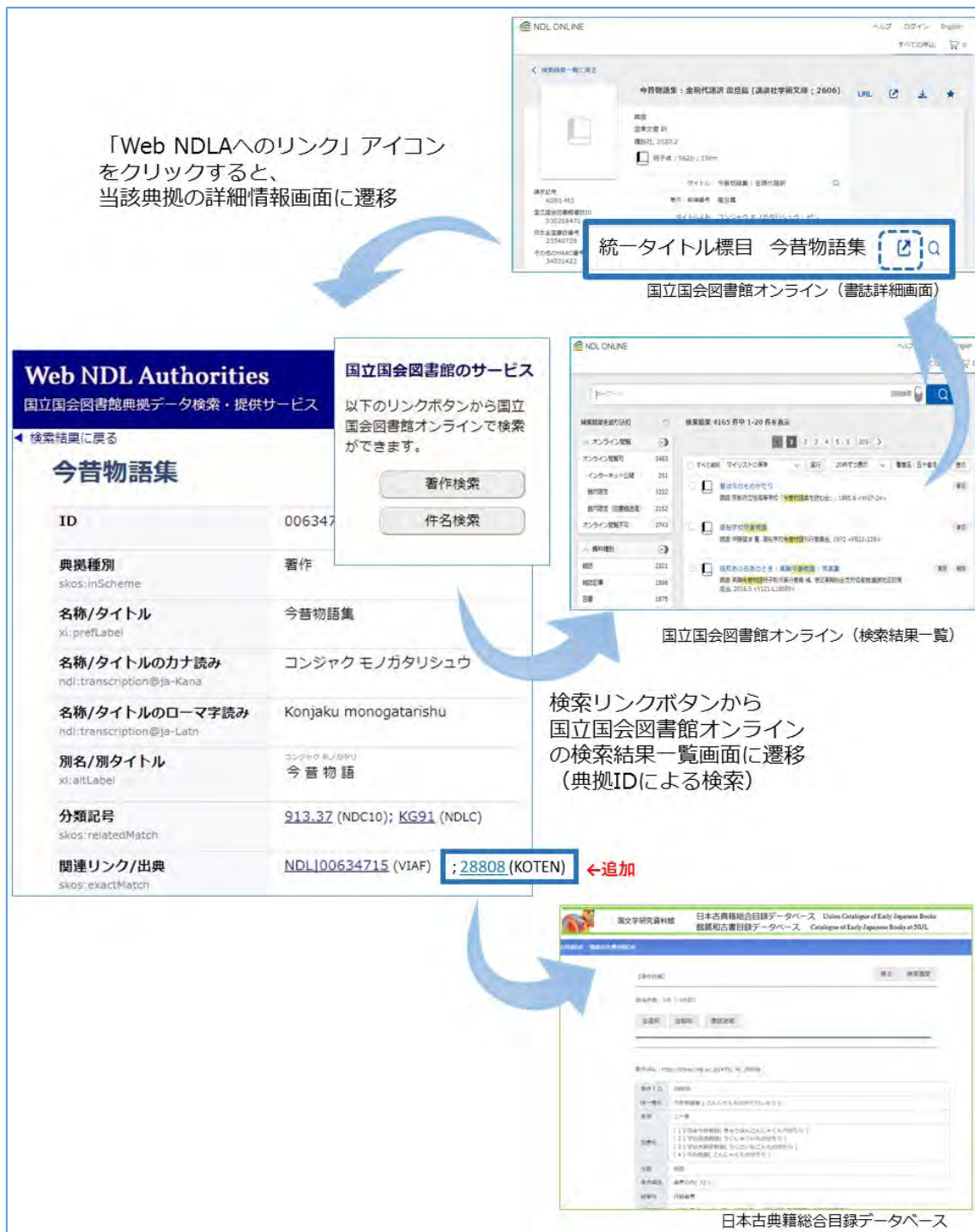


図2 著作典拠詳細情報画面からのリンクイメージ

3. ジャンル・形式用語

著作の典拠と同様に、2021年1月から、Web NDL Authoritiesでは「ジャンル・形式用語」の典拠（以下、「ジャンル・形式用語典拠」）の提供を開始します。ジャンル・形式用語は、その資料が「何であるか」を表す統制語彙で、資料の内容の類型や様式を表します。国内で刊行された図書および外国で刊行された和図書の一部を典拠のリンク対象とし、導入当初は「漫画」、「児童図書」、「LLブック」、「議会資料」の四つを適用します。ジャンル・

形式用語に関する詳細は、本誌今号「コラム：ジャンル・形式用語の付与を開始します」をご覧ください。



図3 ジャンル・形式用語典拠の詳細情報画面（予定）

ジャンル・形式用語典拠の詳細情報画面では、「ジャンル検索」ボタンから、国立国会図書館オンラインの検索結果一覧に遷移します。国立国会図書館オンラインの検索画面では、ジャンル・形式用語によるキーワード検索はできませんが、Web NDL Authorities のリンクボタンを使うことで、ジャンル・形式用語典拠にリンクする書誌データの検索が可能になります。2021 年 1 月の提供開始当初はリンクされた書誌データは限られていますが、今後検索可能な書誌データが増えていきます。将来的には遡及入力も検討していく予定です。

また、Web NDL Authorities では、すべての典拠種別について詳細情報画面から 1 件ずつのダウンロードが可能です。これに加えて、ジャンル・形式用語典拠では、TAB 区切り（TSV）テキスト形式データでまとめてダウンロードを行うこともできます。

【おわりに】

この記事では、2021 年 1 月からの Web NDL Authorities に関する変更点を紹介しました。もっとも大きなポイントは、典拠データを用いた書誌データ検索の連携先が国立国会図書館オンラインに変更される点です。これにより、典拠データを用いた資料の検索結果から、遠隔複写や閲覧などの利用申込みを、これまでよりもスムーズに行うことができるようになります。

また、著作やジャンル・形式用語という新しい典拠データを利用することで、より目的に合う資料に絞った検索ができるようになります。新しくなった Web NDL Authorities が、より多くの利用者の方々に便利で身近なものとなることを期待しています。

(にしむら はすみ 収集・書誌調整課)

- [1] 『日本目録規則 2018 年版』の適用に伴う典拠データの変更については、次の記事もご参照ください。
収集・書誌調整課 書誌調整係. コラム：NCR2018 適用 (2) 典拠データの変更点. NDL 書誌情報ニューズレター. 2020 年 1 号 (通号 52 号) ,
https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11486587_po_2020_1.pdf?contentNo=1#page=10, (参 照 2020-09-24).
- [2] 本稿の図について、システムの画面はすべて開発中のものです。また表示されているデータは仮のものです。
- [3] 著作と統一タイトル件名は同一の典拠データを使用します。Web NDL Authorities で、統一タイトル件名のみで使用される典拠データの典拠種別は「統一タイトル」と表示されます。著作として使用される典拠は、統一タイトル件名としても使用されるものも含め、典拠種別は「著作」と表示されます。
- [4] 著作の検索対象には、作品そのものを形にした資料のほか、改訂、増補、翻訳など元の作品の内容を損なわない変更があった資料も含まれます。
- [5] 国立国会図書館オンラインの書誌詳細画面では、「著者標目」、「統一タイトル標目」および「件名」の横に「NDL オンラインを再検索する」アイコンが表示されますが、これは典拠 ID 検索とは異なり、文字列で国立国会図書館オンラインを再検索する機能です。この再検索機能では、典拠データとリンクしていない書誌データを含め、すべての書誌データが検索対象になります。文字列検索でも「村上，春樹，1949-」と「村上，春樹，1937-」のように区別して検索できる場合もありますが、普通件名「河童」のように、統一タイトル件名「河童 (小説)」や「妹尾，河童，1930-」などほかの典拠データの見出しの文字列の一部と重なる場合は、文字列では区別して検索することができません。
- [6] 著作については次の記事もご参照ください。
小林久美子. What's 書誌調整 ふたたび(第 12 回)新しい『日本目録規則』(NCR2018 年版)の特徴. 国立国会図書館月報. 2018. 11, (691) , p. 21-25,
https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11174776_po_geppo1811.pdf?contentNo=1#page=23, (参照 2020-09-24).
- [7] 件名典拠 (統一タイトル件名) については次の記事もご参照ください。
伊東晶子. ある著作を主題とする本を発見するために—統一タイトル件名. NDL 書誌情報ニューズレター. 2019 年 2 号 (通号 49 号) ,
https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11332890_po_2019_2.pdf?contentNo=1#page=2, (参照 2020-09-24).
- [8] 整理区分コード 115 (家庭内実用書など)、および 117 (学習および受験関連書など) 等の資料は、対象外です。整理区分コードに該当する資料の詳細は「[整理区分ごとの書誌データ水準](#)」をご参照ください。
- [9] 古典作品とは、原語が日本語の場合は慶応 4 年以前、中国語の場合は宣統 3 年以前 (韓国・朝鮮語の場合もこれに準ずる)、それら以外の言語の場合は 1830 年以前に成立したものとします (ただし、外国の作品の複製・翻刻および外国の作品が日本語以外の言語にのみ翻訳されている場合を除きます)。
- [10] 近現代の作品とは、原語が日本語の場合は明治元年以後、中国語の場合は宣統 4 年以後 (韓国・朝鮮語の場合もこれに準ずる)、それら以外の言語の場合は 1831 年以後に成立したものとします。
- [11] 同一の著作を具体化した資料であることが容易に判明した場合には、2020 年 12 月以前に作成した書誌デー

タについても、著作典拠のリンク対象とする場合があります。

- [12] 現在、Web NDL Authorities の詳細情報画面からは、[バーチャル国際典拠ファイル \(Virtual International Authority File : VIAF\)](#)、米国議会図書館のリンクトデータサービス [ID.LOC.GOV](#) および [Wikipedia](#) にリンクを行っています。

コラム:ジャンル・形式用語の付与を開始します

【はじめに】

国立国会図書館 (NDL) では、2021 年 1 月以降に新規作成する書誌データのうち、国内で刊行された図書および外国で刊行された和図書の一部について、ジャンル・形式用語の付与を開始します。

1. ジャンル・形式用語とは

ジャンル・形式用語とは、一言でいえば、その資料が「何であるか」を表す統制語彙です[1]。

統制語彙としては、資料の「主題は何か」を表す件名を、これまでも書誌データに付与してきましたが、2021 年 1 月からは、新たにジャンル・形式用語も付与します。

件名が資料の取り扱っている主題を表すのに対し、ジャンル・形式用語は、フィクションや写真集といった資料の内容の類型や様式を表します。

たとえば、石ノ森章太郎と他の漫画家が漫画について語り合った対談集『漫画超進化論』のように、**主題が漫画**である資料には**件名「漫画」**を付与します。ダーウィンの『種の起源』を漫画化した『ダーウィン種の起源を漫画で読む』のように、**形式が漫画**である資料には**ジャンル・形式用語「漫画」**を付与し、あわせて件名「進化論」も付与します。

2. NDL で付与を開始するジャンル・形式用語

当初は、付与することによる効果が高いと考えられる、「議会資料」「児童図書」「漫画」「LLブック」の四つでジャンル・形式用語の付与（ジャンル・形式用語の典拠データとのリンク）を開始します。具体的には次のとおりです。

- ・「議会資料」：日本の議会資料および地方議会資料に付与します。
- ・「児童図書」：学習参考書などを除くおおむね 18 歳以下を対象とした図書に付与します。
- ・「漫画」：読み物としての漫画作品はもちろん、漫画の形式で内容を伝える資料に付与します。
- ・「LLブック」：知的障害のある人や日本語を母語としない人などが読みやすいよう、写真や絵、絵文字、短い言葉などで構成された資料で、LLブックであることを示すロゴマークや語句が資料に表示されている場合に付与します。

「児童向けの漫画」や「児童向け LL ブック」など、複数のジャンル・形式用語に当てはまる資料には、複数のジャンル・形式用語を付与します[2]。

以下の図1は、明智光秀の伝記の書誌データの例です。[国立国会図書館検索・申込オンラインサービス（国立国会図書館オンライン）](#)の「書誌詳細画面」で「詳細な書誌情報を表示」をクリックすると開く画面では、「ジャンル・形式」と表示されます。ジャンル・形式用語「児童図書」「漫画」が付与されていることにより、この資料は、児童向けの図書であり、漫画形式で書かれた資料であることがひと目でわかります。



図1 児童向けの漫画形式の資料の書誌データの例（予定）[3]

3. ジャンル・形式用語による検索

同じジャンル・形式用語が付与されたほかの資料を探したい場合は、[国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス（Web NDL Authorities）](#)を通じて検索することができます。

図2は、「LLブック」の例です。[国立国会図書館オンライン](#)の「書誌詳細画面」で「詳細な書誌情報を表示」をクリックします。画面の「ジャンル・形式 LLブック」の右にある「Web NDLA へのリンク」アイコンをクリックすると、Web NDL Authorities に収録されているジャンル・形式用語「LLブック」の典拠データ詳細情報画面が開きます。画面右横の「ジャンル検索」リンクボタンを押すと「LLブック」が付与された国立国会図書館オンラインの書誌データの一覧が表示されます。

国立国会図書館オンライン



「Web NDLA へのリンク」アイコンをクリックすると、「LLブック」の典拠詳細情報画面に遷移します。

Web NDL Authorities



「ジャンル検索」リンクボタンをクリックすると、ジャンル・形式用語「LLブック」が付与された書誌データの一覧が表示されます。

国立国会図書館オンラインの検索結果一覧



図2 ジャンル・形式用語「LLブック」が付与された書誌データの検索イメージ

【おわりに】

資料の類型や様式は、これまでも分類記号などで表してきました。たとえば、[国立国会図書館分類表 \(NDLC\)](#)

では、日本の議会資料は「BZ」で始まる記号で、児童向け図書は「Y1」から「Y18」までの記号などで表していますが、分類表に慣れていないとわかりにくいという欠点があります。

NDLCに加えて、これからはジャンル・形式用語を使って言葉でも表すことで、より理解しやすい書誌データを提供していきます。

ジャンル・形式用語の付与は、「漫画」など、四つの用語のみでスタートしますが、将来的には用語の拡大や遡及入力を検討していく予定です。ジャンル・形式用語を用いた多様な検索方法を提供できるようにしたいと思います。

(国内資料課)

- [1] ジャンル・形式用語の意義や機能については、以下の記事に簡潔にまとめられています。
柴田洋子. ジャンル形式用語の動向 : 米国議会図書館の取組みをはじめとして. カレントアウェアネス. 2016-03-20, (327),
<https://current.ndl.go.jp/ca1869>, (参照 2020-07-26) .
- [2] ジャンル・形式用語作業の詳細については、2021年1月以降に当館ホームページの以下のページに「国立国会図書館ジャンル・形式用語作業指針」を掲載予定です。
https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification_subject/index.html
- [3] 本稿の図について、システムの画面はすべて開発中のものです。また表示されているデータは仮のものです。

お知らせ:『日本目録規則 2018 年版』適用細則案(地図資料、和古書)の公開および「ジャンル・形式用語作業指針」の公開(予告)について

国立国会図書館 (NDL) では、2021 年 1 月からの『日本目録規則 2018 年版』(以下、「NCR2018」) の適用開始を目指し、適用細則および基準の案を 2019 年 10 月以降、段階的に公開しています。

2020 年 11 月には、地図資料および和古書を対象とする以下の適用細則および基準の案を公開しました。

- 『日本目録規則 2018 年版』適用細則 (2021 年 1 月) (案)
 - ・ 「第 2 部 セクション 2 著作、表現形、体現形、個別資料」(地図資料、和古書)
- 統一タイトル (和古書) の選択・形式基準 (2021 年 1 月) (案)

詳しくは、以下のページをご覧ください。なお、このページに掲載している適用細則および基準の案は、2021 年 1 月以降、確定版として「[書誌データ作成ツール](#)」の各ページで公開します。

➤ [日本目録規則 2018 年版 \(NCR2018\) について](#)

また、NCR2018 の適用開始と同時に導入するジャンル・形式用語について、NDL の運用方針を示す「ジャンル・形式用語作業指針」を、2021 年 1 月 5 日以降、「[分類、件名、ジャンル・形式用語](#)」のページで公開します。ジャンル・形式用語については、本誌今号「コラム：ジャンル・形式用語の付与を開始します」をご参照ください。

(収集・書誌調整課 書誌調整係)

お知らせ:2021年1月からWeb NDL Authorities でアジア言語資料の著者名典拠を公開 します

国立国会図書館は、2021年1月から[国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス \(Web NDL Authorities\)](#)で、新たにアジア言語資料の著者名典拠約1万7000件を公開します。これらの典拠データは2011年11月までに作成されたもので、アジア言語資料の書誌データにリンクしており、個人名典拠および団体名典拠があります。JAPAN/MARC (A) (典拠データの機械可読版) の収録対象および[バーチャル国際典拠ファイル \(Virtual International Authority File : VIAF\)](#) への提供対象には含まれません。

該当する典拠データは、詳細情報画面の注記に「アジア言語資料典拠」と表示します。アジア言語資料の著者名典拠以外の個人名・団体名典拠とは異なり、「[個人名標目の選択・形式基準](#)」および「[団体名標目の選択・形式基準](#)」に従った作成はしていません。このため、「名称/タイトルのローマ字読み」欄に中国の個人・団体のピンイン表記が表示される場合や、カナ読みがあってもローマ字読みが表示されない場合があります。また、VIAFへのリンクは表示されません。

本誌今号「2021年1月からWeb NDL Authorities が変わります」では、2021年1月からのWeb NDL Authorities のその他の変更点を紹介しています。あわせてご覧ください。



図 アジア言語資料の著者名典拠の詳細情報画面 (予定)

お知らせ:2021年1月から書誌データ提供サービスが変わります

【国立国会図書館サーチから MARC 形式・MARC タグ形式のデータがダウンロードできます】

2021年1月5日(火曜日)から、[国立国会図書館サーチ](#)の書誌詳細画面で、MARC形式またはMARCタグ形式の書誌データを1件単位でダウンロードできるようになります。対象は国立国会図書館が作成した書誌データで、検索結果一覧画面から検索集合でのダウンロードはできません。

また、新たに、国立国会図書館サーチの書誌データをISBN、キーワード、NDC、NDLCで検索し、検索結果をまとめてMARC形式またはMARCタグ形式で取得できるツールが登場します。国立国会図書館サーチからダウンロードした複数の書誌データを1ファイルに統合することもできます。

新しいサービスについては、2021年1月5日以降、ホームページ「[全国書誌データ > 全国書誌データ提供サービス > 国立国会図書館サーチ](#)」でご案内する予定です。

外部提供インタフェース(API)やRSS、DC-NDL形式およびJSON形式でのダウンロードは従来どおり利用できます。[本誌2019年4号](#)でご紹介した「[NDL書誌データ取得・検索シート](#)」も引き続き利用できます。



図 2021年1月5日からの国立国会図書館サーチ画面(予定)

【ホームページ「書誌データの提供」をご覧ください】

2021年1月以降、国立国会図書館ホームページの現「書誌情報提供サービス」が、「書誌データの提供」に変わります。書誌データ、典拠データ、雑誌記事索引データの取得や利用に関する便利な情報をわかりやすくご案内します。

https://www.ndl.go.jp/jp/data/data_service/index.html

【NDL-Bib が終了します】

2020年12月28日（月曜日）をもって国立国会図書館書誌提供サービス（NDL-Bib）を終了します。2021年1月以降、NDL-Bibのページにアクセスした場合はエラーとなりますのでご注意ください。代替となるサービス、注意点については[本誌2020年2・3号](#)をご覧ください。

（本件に関するお問い合わせ先）

収集書誌部 収集・書誌調整課 書誌サービス係

メールアドレス：bibinfo @ndl.go.jp

（収集・書誌調整課 書誌サービス係）

お知らせ:「NDL 書誌情報ニューズレター」は 2021 年 1 号(通号 56 号)をもって終刊します

「NDL 書誌情報ニューズレター」は、2021 年 3 月刊行予定の次号 2021 年 1 号（通号 56 号）をもって終刊します。

本誌でお伝えしてきた国立国会図書館の書誌データの作成と提供に関するお知らせや話題、適用しているルール類、また書誌データの作成と提供に関する世界の動向などについては、本誌終刊後は「[書誌データの作成および提供](#)」のページに掲載し、最新の情報をいち早くお伝えできるようにします。

今後も書誌データの作成と提供に関する最新動向をお伝えしてまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。

(収集書誌部)

NDL 書誌情報ニューズレター(年4回刊)

2020年4号(通号55号) 2020年12月25日発行

編集・発行 国立国会図書館収集書誌部

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1

E-mail: bib-news@ndl.go.jp (ニューズレター編集担当)